

兵庫県登録文化財答申物件一覧表

種 類	名 称	員数	所 在 地	所 有 者
登録有形文化財	建造物 せんこうじ 泉光寺 円通堂・鐘楼門・水天宮	3棟	養父市大藪495番地	宗教法人泉光寺（円通堂・鐘楼門） 大藪区（水天宮）

兵庫県登録文化財答申物件概説

1 せんこうじ 泉光寺 3棟 (養父市)

泉光寺は、養父市の北東部、大藪集落の北東山麓にあり、当地を治めた小出氏の菩提寺として正徳元年（1711）に創建された。

円通堂は、創建時（正徳元年）に建立され、宝形造棧瓦葺の三間堂で、屋根は茅葺から瓦葺になるなど一部で改修が見られるが、概ね当初の姿を残している。

鐘楼門は安永五年（1776）建立、一間一戸、重層で、四脚門の形式となっている。上層は壁に囲まれた空間をなし、屋根は入母屋造、金属板を被せた茅葺で、当初の形を良好に残している。

水天宮は天保十三年（1842）建立で、梁間一間、桁行二間、切妻造、棧瓦葺である。奥側一間にご神体を祀る内陣とその手前に祭壇を設置し、手前側の一間に拝礼の空間を設けている。池泉式庭園の池の中に作った平地に建ち、池面より約2m高い高床で作られており、池に浮かんで建つような配置は特徴的である。

以上のように泉光寺は、小出氏統治時代の藪地域歴史や景観を今に伝えるもので、登録基準(1)「県土の歴史的景観に寄与しているもの」として注目される。



円通堂



鐘楼門



水天宮